

第1回 まちづくり講演会

～買い物弱者問題&立地適正化計画～

このたび、金沢大学都市計画研究室とカワカミ都市計画研究室は、地域における都市計画やまちづくりに関する実務・研究分野における専門家をお招きして、講演会を開催します。講演会を通して、都市計画やまちづくりに関する最新の動向や事例を学んだり、参加者どうしが交流を行う場とすることで、地域の都市計画・まちづくりの更なる発展に貢献する事を目的としています。今回は、その記念すべき第1回目となります。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、オンライン形式で実施することにいたします。

日時：令和2年8月1日（土）13時半～16時

会場：Zoom を利用したオンライン開催

定員：30名程度

※講演会はオンラインでのみ参加可能です。終了後の懇親会は行いません

※オンラインでの参加や資料のご案内をする都合上、事前にお申込み下さい

【講演者】

関口 達也（金沢大学 都市計画研究室 助教）

講演題目：地域住民の目線から見る買い物弱者問題 ～買い物に対する多様な評価に着目して～

近年、大都市の近郊外地域においても、日常の買い物に不便を感じる人々が増加する「買い物弱者」の問題が見られ、様々な調査研究もなされている。この買い物弱者の問題は、人々の「不便」といった主観的評価が根底にあるため、個々人の買い物行動の実態や地域の買い物環境に対する評価を踏まえた状況把握・対策立案が不可欠である。

今回の講演では、東京近郊外の住宅団地において、住民の方々に向けて行った買い物行動・評価意識等の様々な調査結果を基に、地域における問題の現状や要因、対策の在り方について紹介する。

木谷 弘司（金沢市まちづくり相談員（前 金沢市都市整備局長））

講演題目：金沢市集約都市形成計画が目指すもの

人口減少・少子高齢化は、金沢市を含めこれからの我が国のまちづくりに関して避けがたい課題であり、金沢市では2016年度に集約都市形成計画を策定して長期的な方針を提示している。

金沢市におけるこの課題の影響を概観すると、高齢化への対応が喫緊で人口減少に対しては長期的視野に立ちいかに予防と準備をするかが大切と判断し、公共交通と土地利用を連携させた「軸線強化型都市構造」への転換を目指すことで、まずは都市の使い方のコンパクト化を目指していくとしている。

<実施主体>

- ◆主 催：金沢大学都市計画研究室（代表：沈 振江）
カワカミ都市計画研究室（代表：川上 光彦）
- ◆協 力：まちづくり講演会 世話人会

<参加費・申込方法>

- ◆参加料：無料
- ◆申込み：以下の申し込みフォームより、7月25日（土）までに参加者情報をご記入いただきますよう、お願いします。
前日までに、資料とZoomでのオンライン講演会への接続のご案内をお送りいたします。

URL: <https://forms.gle/xMvBhc9C6R25Uiab8> *定員に達した場合のみ連絡いたします。

※ Zoomのインストール等の講演会参加のための環境は、当日までに各自でご準備をお願いいたします。

<問い合わせ>

関口達也（金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系 助教）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

e-mail: ta-sekiguchi@se.kanazawa-u.ac.jp

こちらのQRコードからも
参加申し込みが可能です。

